

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙・「みらい」
NO. 3769
17年7月7日(金)
・Fax 095-828-1953

極右と決別する 世界の流れに!

おはようございます。

今日は七の三並びで、ラッキーセブンだ。根拠のない俗説だが・・・。
一日、東京の都議会議員選挙で台風のような都民ファーストの風が吹いたと思ったら、四日には本物の台風三号が長崎を直撃した。被害はありませんでしたが、お見舞い申し上げます。

都議会選挙では「反自民」の怒りの結果だが、これは東京だけの現象だろうか。森友学園事件に続く、豊田議員の「暴言、暴行事件」、萩生田官房副長官の「加計学園での安倍総理のご意向発言」、稲田防衛大臣の「憲法違反、公職選挙法違反事件」、下村都連会長で幹事長代理の「加計学園からの閣議金疑惑」、菅官房長官の「高圧的な記者会見の態度」など、自民党への都民の怒りで、当然だ。

しかし根本は、安倍内閣の強権的政治姿勢が、国民の怒りをつけたのだ。選挙最終日に安倍首相は秋葉原駅前街頭演説をすることが通例だったが、今回はやはり都民の怒りの声が大きくなり、首相の演説に「安倍帰れ」のコールが起こった。それに対して安倍は「自民党



は人の演説を妨害などしない。こんな人たちに負けるわけにはいかない」と言い放った。



国会の質疑中にも野党議員の質問者を、首相席から公然と野次る安倍首相が、自民党は人の演説を妨害などしない」とはよく言えたものだ。安倍は国民に平気でうそをつく。そもそもウソを言っているという認識がないのだろう。破廉恥そのものだ。こんな人が国のトップなんて、国民の良心が問われているのだ。

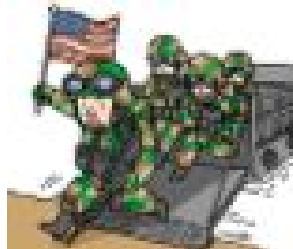
今年一月にアメリカで極右のトランプが大統領につき、世界が右に流れるといわれた。その一番手が三月のオランダの下院議員選挙だった。右翼は第一党を取れず、少し流れが変わる。
次が六月のイギリスの総選挙で、保守党が過半数を取れず、EUの離脱の流れで、排外的な右への勢いを失った。
そしてフランスの大統領選

挙で極右のルペンが中道のマクロンに大敗し、続く総選挙でも右翼は衰退した。

世界では自国第一主義の排外主義的な右派勢力が勢いを失っているのだ。これはアメリカのトランプのあまりにもひどい差別主義的な、反民主主義的な言動にある。

こつした世界の極右の流れの先取りが、安倍の一昨年の総選挙と去年の参議院選挙の大勝であった。安倍は「地球の真ん中で日本が輝く」と、国家主義、排外主義を公然と掲げたが、この大勝の原因は自公政権の公明党の「政権与党ファースト」の自民補完姿勢にあった。そして、今回、公明党が小池都知事の都民ファーストの側につき、自民党が大敗したのだ。

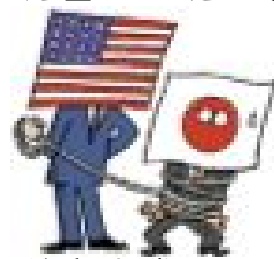
ようやく日本も極右の安倍政権にNOをつきつけ、世界の反転の流れに乗ったかに見える。しかし小池都知事は、選挙前までは自民党員であり、極右の日本国民会議のメンバーでもある。橋本・維新の会のように、いつ自民党の補完勢力と転じないとは言い切れない。
日本ではほぼ一年の間に総



選挙がある。自民党の過半数を破るためには、野党の選挙での連携が必要である。その中心軸が民新党ではなく、都民ファーストの小池都知事となるのは想像に難くない。それは都知事が選挙結果を受けて「都民ファーストから国民ファースト」へとスローガンを変えたことでも伺える。

これは「日本第一主義」の言葉を少し変えた極右の政治ともなりかねない。次の選挙の最大の争点は、改憲阻止であり、安倍打倒である。この選挙での反自民の結果を全野党は追求すべきである。

この七月四日はアメリカの独立記念日だった。一七七六年、アメリカはイギリスの植民地からの解放を求めて、独立戦争に入る。この独立を支持したトマス・ペインは、その著作「コモン・センス」で以下に書く。
「・・・もうイギリスの憲法はつんざりだ。なぜかというところ、王政が共和制を毒し、王が下院を独占したからだ。イギリスの国王は、戦争をしたり、官職を分配したりするほか、なにもすることが



ない。はっきり言えば、王がやっていることは、国民を貧乏にしたり、仲たがいをさせたりすることだ。一人の人間が一年間に八十万ポンドをもらい、おまけに崇拜されるとはなんと結構な職務ではないか。神の目から見ると、これまでの悪王冠をかぶった悪党全部よりも、一人の正直の人間の方がずっと尊いのだ」と。

こつしてペインが書いた論文通りに、アメリカは独立し、その独立宣言と、ペインが次に書いた「人間の権利」ハリベラルの声に押されてフランス革命が続き、両国は王政を倒して共和国となった。これが自由・平等・博愛の現代世界なのだ。

しかし、いまアメリカではまさに王様然とした独裁者のトランプが登場し、民主主義の国「共和国は大混乱だ。彼には建国思想の共和制(国民主権)の歴史と大義を学ぶべきだし、この政権は倒されなければならない。
またそのトランプと同盟を組む日本国も、極右の安倍政権と決別し、真の民主的な国民主権の共和制国家であるべきである。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別!

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ!

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 他支部・分会の役員へ。